

市町村名	学校名等	活動の区分	
檀原市	檀原市立畝傍中学校	学校支援	放課後 子ども教室
(住所) 奈良県檀原市石川町204	(電話) 0744-27-1444	○	○
<p>(活動の概要) ボランティアにより、放課後の学習支援、環境整備、図書室の整理整頓、吹奏楽・ホッケー・科学部の指導などを行っている。学習支援では、大学生に混じって若い教職員もボランティアで参加するようになり、土曜・日曜の早朝から夕方まで多くの生徒が利用している。図書室は、本年度大量の図書の購入があり耐震工事による利用制限もあったが、多くのボランティアの方に支えられうまく運営されている。環境整備では、突然の器物破損などPTAの方々のボランティアによるすばやい修繕で対応している。部活動の指導では、高度な専門性が必要なときや高いレベルの練習が要求される時など大変役に立っている。</p> <p>また、人権フォーラムでは、校内環境保護改善委員会、学習アドバイザーによる学習支援、飛鳥川の生態系調査と保護活動、地域との交流、人権フェスタなどに取り組んだ。</p>			

### 《学校支援》

1 【実施主体】 畝傍中学校地域連携事業

2 【活動支援スタッフ体制】

コーディネーター 6 人

ボランティア登録数 59 人

3 【主な活動内容】

〈スクールボランティアによる学習支援の補助〉



実施時期：通年

対象学年：全学年

内容：学習の内容がわからないで困っている生徒や、休みがちな生徒、3年生で入試に向けて学習したい生徒を対象に、1週間に3回程度放課後学習している。生徒からも好評である。

参加ボランティア人数：25名

〈環境整備の活動ボランティア〉



実施時期：通年随時

内容：花壇の整備や正面玄関の鉢花の植え替えや、校舎内の環境整備(清掃、塗装、フェンス・街灯の修理ほか)、校舎周りの草刈などをお願いしている。

参加ボランティア人数：5名

〈図書室ボランティア〉



実施期間：通年(火曜日・水曜日・木曜日)

内容：書棚の整理整頓、新刊の展示準備、図書貸出名簿作成、廃棄処分の本を検討、昼休みや放課後の本の貸出などを行う。

参加ボランティア人数：8名

### 〈吹奏楽部活動指導〉



実施時期： 毎月4回程度放課後

内容：吹奏楽の指導経験者を招き各楽器ごとに指導・助言していただく。日々の放課後の練習やコンクールや発表会の曲の指導やホール練習の指導など。

参加ボランティア人数：5名

### 〈ホッケー部活動指導〉



実施時期： 毎月4回程度

内容：OB やホッケーの経験者を招き部の指導・助言していただく。大会での戦術、日々の練習の技術面やメンタル面、保護者への対応など生徒一人ひとりにていねいな指導をしていただいている。

参加ボランティア人数：9名

### 〈科学部活動指導〉



実施時期： 通年随時

内容：飛鳥川や畝傍山の環境調査研究活動に対して指導助言をいただき、研究や調査方法についても協力してもらっている。科学部は、本年度は韓日青少年水フォーラムで環境調査の発表をするなど環境学習の面で国内外で高い評価を受けている。

参加ボランティア人数：7名

## 《畝傍中学校人権フォーラム》

### 1 【活動場所】

畝傍中学校 等

### 2 【活動状況】

年間 65回 実施

### 3 【参加児童・生徒人数】

出席生徒数のべ 156人

### 4 【活動支援スタッフ体制】

コーディネーター 1人

学習アドバイザー 8人 安全管理員 1人

活動支援ボランティア (のべ) 11人

### 5 【安全管理体制】

安全管理員として1人を配置。加えて活動支援ボランティアが11人参加し、安全管理に努めている。

## 6【主な活動内容】

[畝中人権フォーラム]

見学する つくる 体験する 外国の文化に学ぶ ボランティアを行うなど、さまざまな活動を通じて、人権や自分たちの生活について学ぶ活動。

### ●校内環境保護改善委員会

昨年の5月ごろ、校内にある掲示物や火災報知機に対するいたづらが何度かあった。全校集会で生徒



指導の先生が「こんな行為はおかしいんだという雰囲気を作ろう」と呼びかけ、破損した掲示物を修繕したり、校内環境をよくしてくれるメンバーを募ってくれた。

その日の放課後、十数人が集まり、校内環境保護改善委員会が発足した。活動はやがて、中庭の美化活動や自転車置き場前の溝掃除と広がり、その様子を見ていた他の生徒も「私も参加していいですか」と人数も増えていった。全くの有志で呼びかけた集まりが少しずつ大きくなっていく。活動は、校外にも広まり、写真は1月20日に檀原神宮前駅周辺の清掃活動を行っている生徒会と校内環境保護改善委員会のメンバー17名です。

### ●学習アドバイザーによる学習支援

○夏休み・冬休み中・3学期の学習

8名の学習アドバイザー（大学生のボランティア）が来ていただいて、定期テスト前や夏休み中の補充学習の学習指導も行っていただいた。

この夏も、何人もの先生方が個々に自分の関わっている生徒たちの学力補充に取り組む姿があった。そんな中、何度か来てくれた学習アドバイザーとともに学習にはげむ、3年生の姿もあった。

冬休み中には、年末の28日まで、人権教育室を中心に、3年生の生徒が集まり、学習アドバイザーのサポートのもと、学習やまとめ作業に取り組んだ。

こうした学習アドバイザーによる学習指導のサポート補助は、テスト前の放課後学習にもたくさん来ていただいて行われている。

放課後学習は、年間で約65日実施した。



### ●飛鳥川の生態系調査と保護活動

フォーラムの生徒と科学部の生徒は、飛鳥川という河川を中心に、その流域の生態系・歴史的景観と人間生活のよりよい関係を目指した、街づくりに取り組んでいる。



具体的な活動内容は、飛鳥川の水質調査や流域の生態系調査を定期的に行ったり、源流付近と上流の2箇所にもホタルビオトープを制作し、ゲンジボタルやカワニナの飼育、ハンゲショウ（奈良県の希少種）やツリフネソウなどの植物も栽培している。

2011年2月26日、飛鳥川上流で行われている遊水池の建設で植物や魚が死滅してしまうのを防ぐために魚や植物の保護を目的とし、魚類や水生昆虫、植物を採取した。

遊水池とは洪水時の河川の流水を一時的に氾濫させる土地のこと。しかし、その造成にともなって、その場所に生育していた魚類や水生昆虫、植物などが死滅してしまう。また、川に生息している動植物の生態系のバランスが大きく崩れてしまう。

保護した植物は「ショウブ」「スゲ」「シダ植物」等で、保護した魚類及び水生昆虫は、「アブラハヤ」「カワムツ」「カワヨシノボリ」「カワゲラ」等。

飛鳥川で保護した魚や水生昆虫はその場所より上流に放流し、採取した植物は橿原市昆虫館に作成したビオトープに移植した。

現在、このビオトープには、ショウブ、ネコヤナギ、スゲ、ミカンなどの植物が生えており、魚は、カワムツ、オイカワなどが生息している。つまりこのビオトープの状態は大変良いものだと言える。



### 地域との交流

フォーラムの生徒と科学部の生徒は、地域のショッピングモールでパネル展示や活動を紹介したビラ配り、飛鳥川についての意識調査のアンケートなど、啓発活動を行っている。また、県や市の環境フェスタにも毎年参加している。

### ●人権フェスタ 10月

かつて学習会の生徒の活動を基盤に開催されていた「人権フェスタ」を約10年ぶりに復活した。3年生の有志の生徒29人が参加した人権劇「ともだち」を上演。各学年の代表の生徒による人権作文発表会も、その行事の中で実施した。地域開放で保護者も鑑賞した。またこれを受けて、1年生では、生活課題を抱える生徒が自分のことを語る場を設け、クラスの生徒とつなげていこうとする取り組みも見られた。



人権劇にむけての、準備の活動は、夏休み・放課後・土・日で行っていった。

